

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 305 (通算 635 回)

2015 年 10 月 15 日 (木)

シニア世代の“元気”を大学の活力に――

大学連携型 CCRC の構想と実現方策

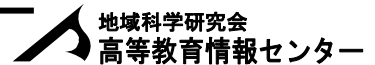
～健康長寿・生涯学習コミュニティ／産学行協働と構築／米国先進事例～

- ※ 大学連携型 CCRC とは／米国の先駆事例～その現代的意義／日本の胎動／実現に向けた政策・産官学連携
- ※ [杏林大] 「都市型高齢社会の健康と安心」への挑戦／米国に学ぶ／大学 4 学部資源の活用
- ※ [中部大] 近接ニュータウンとのキャンパスタウン化／世代間交流・学生共育／COC 事業の深化
- ※ [都留文科大] 市立大 60 年の実績／市の現況と長期構想～大学との協働／世界に開かれ地方に住む

● 講師陣 ●

松田 智生 氏 / (株) 三菱総合研究所 プラチナ社会研究センター 主席研究員
 蒲生 忍 氏 / 杏林 CCRC 研究所 所長 杏林大学 保健学部 教授
 櫻井 誠 氏 / 中部大学 学生教育推進機構 機構長補佐 工学部 応用化学科 教授
 福田 誠治 氏 / (公) 都留文科大学 学長

2015 年 10 月 15 日 (木) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)



日時：2015 年 10 月 15 日 (木) 10:00～16:50
 会場：日本教育会館 会議室 (東京・神保町)

千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2833

アクセス：東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」

A1 出口より徒歩 3 分 <http://www.jec.or.jp/koutuu/>

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名 (資料代込) 41,000 円 (消費税込)

B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付) 42,000 円 (送料、消費税込)

C. 高等教育同人 (☆) 21,000 円 (消費税込)

※メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、開催後に当日配布資料及び音声 CD を送付します。

※なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。

※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

☆高等教育計画経営研究所同人は KKJ の HP でご確認ください。

☆ ご案内をパンフからメールにシフトしております。ご登録くださいませ。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

郵便振替 00110-8-81660

口座名 <(株) 地域科学研究会 >

※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先：地域科学研究会・高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4ライオンズ第 2-106

Tel: 03 (3234) 1231 Fax: 03 (3234) 4993 〒102-0082

E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp

HP : <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 305

大学連携型 CCRC の構想と実現方策

2015 年 月 日

(□に✓印を) □当日参加 □メディア参加

支払方法 □郵便振替 □当日払い □銀行振込

必要書類 □請求書 □見積書

勤務先 _____

所在地 〒 _____

連絡部課・担当者名 _____

メールアドレス _____

TEL _____ FAX _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00) 11:30	<p>□ 大学連携型 CCRC の可能性 ～ピンチをチャンスに変える地方創生と大学経営～</p> <p style="text-align: right;">三菱総合研究所 松田 智生</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. CCRC とは何か、なぜ大学連携型 CCRC なのか <ol style="list-style-type: none"> (1) CCRC が求められる背景・要因 (2) 米国の先駆的な事例 (3) 日本の政策動向 2. 日本における大学連携型 CCRC <ol style="list-style-type: none"> (1) 国内の胎動 (2) 胎動事例からの示唆 3. 実現に向けて <ol style="list-style-type: none"> (1) 求められる政策 (2) 求められる産官学連携 <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
11:40) 13:00	<p>□ [杏林大]「都市型高齢社会の健康と安心」に向けた挑戦 ～三鷹・八王子・羽村市との協働 ～米国事例を踏まえて～</p> <p style="text-align: right;">杏林大学 蒲生 忍</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 都市型高齢社会の特徴と課題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 日本人は健康長寿である (2) 予防医学でさらに健康長寿を目指す (3) 都市型高齢社会が今後の重要な課題 2. 米国 CCRC の成立と現状・課題 <ol style="list-style-type: none"> (1) CCRC とは何か (2) 米国の老人施設を見てきました (3) 米国 CCRC の課題は何か 3. 今後への考察：大学の役割 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「健康寿命延伸」都市型高齢社会の健康と医療 (2) 「災害に備える」都市型高齢社会の安全と安心 (3) 「生きがい創出」都市型高齢社会の地域協働 <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
14:00) 15:20	<p>□ [中部大] 世代間交流によるキャンパスタウン化・学生共育事業の実際 ～高蔵寺ニュータウンにおける大学連携型 CCRC の取組み～</p> <p style="text-align: right;">中部大学 櫻井 誠</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中部大学における知(地)の拠点整備(COC)事業参加の背景 2. 高蔵寺ニュータウン(NT)の状況と春日井市の高齢者問題 3. 中部大学が進める知(地)の拠点整備(COC)事業 4. 春日井市高蔵寺ニュータウン版 CCRC 構想 <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:30) 16:50	<p>□ [都留文科大] 都留市・都留文科大学の特色を生かした CCRC ～世界に開かれながら地方に住む～</p> <p style="text-align: right;">都留文科大学 福田 誠治</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 都留市の長期構想 <ol style="list-style-type: none"> (1) 人口減少をくい止める (2) シャッター街・空き家対策など (3) CCRC をどの層に向けて構築するか 2. 都留文科大学の実績 <ol style="list-style-type: none"> (1) 全国から学生を集め地方に返す (2) 地域交流 10 年の経験 (3) 情報ネットワーク整備 (4) 国際交流の拡大 3. 都留文科大学の将来構想 <ol style="list-style-type: none"> (1) 世界に通用する教員養成 (2) ツールとしての英語、国際交流の転換 (3) 先端の教育の導入 (4) IB を機会にして <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>